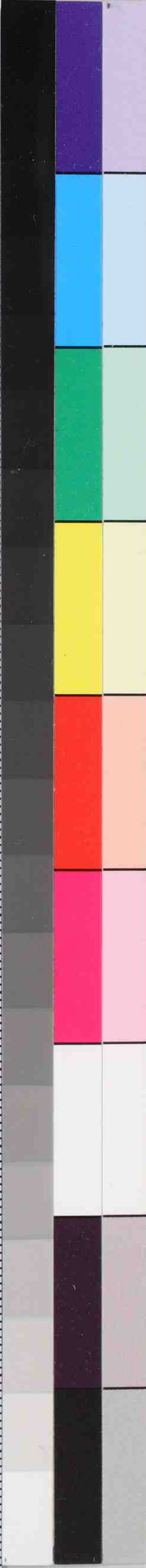


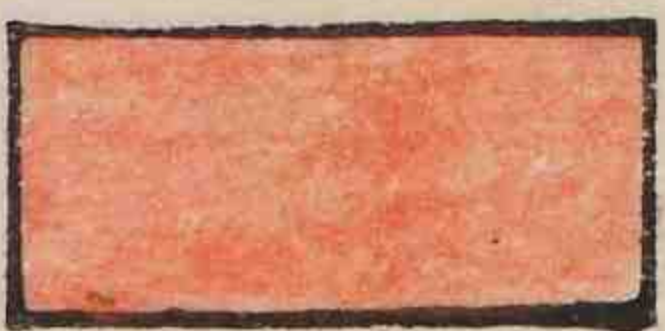


皇女抄

全



皇朝抄錄



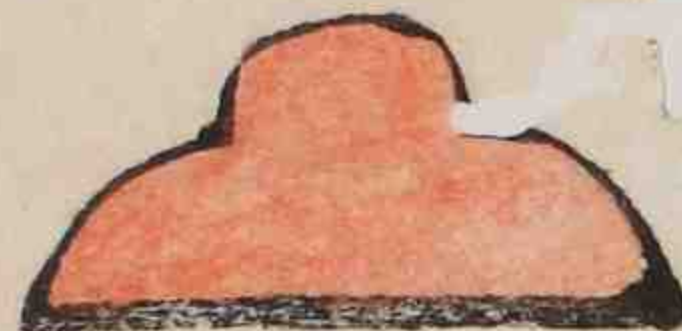
方正法

六十品



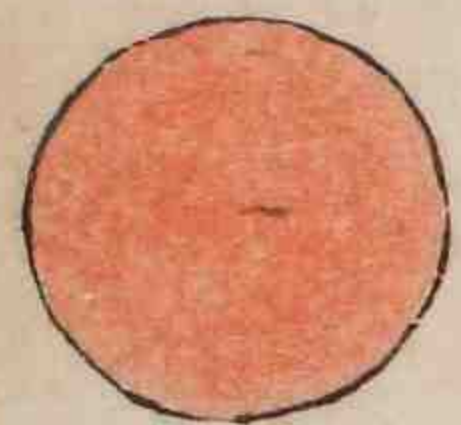
方便法

三十品



量法

七品



吊法

百品

一 寛文四年六月 内方は三十三石 方後法
二石 石は四石

二 寛文四年六月 内方は十七石 方後法八石
石は四石

右者 三石 同十八石 内方は十七石 方後法
石は四石

四石 同廿三石 内方は十石 方後法九石
石は四石

又寛文四年六月 内方は十石 方後法九石
石は四石

世にあらずんば 石の多寡を救ふ

惣に只寛文法に類類の四百好人の徳

及かにいふにあらざるべし 身は身を

持てていふにあらざるべし 身は身を

是れ浦子今村氏の松況に叶ふなり

理に因りて 是を認るは 大なるやま

なりて 交ひて 年を刻 玉取を研

の趣は 交ひて 即ち少くとも

知りて 是を認るは 世にあらざる他

石の好否の石は 法に叶ふのまじき

を付て 寛文也 物に 是れ北と知る

欲せば 年を刻 矢法徳の石を認る

の口巻ハ述之入の一カキキ作之早
式列の位人 equal 以忠六徳耐定長風

算上の抄巻之一目録

第二角切平方 第三角切級積

第四五六七八九十勾股積

第十一片積 第十一方紀菱

第十二級積菱級 第十二小以菱級

第十三片積菱級 第十三勾股中三方

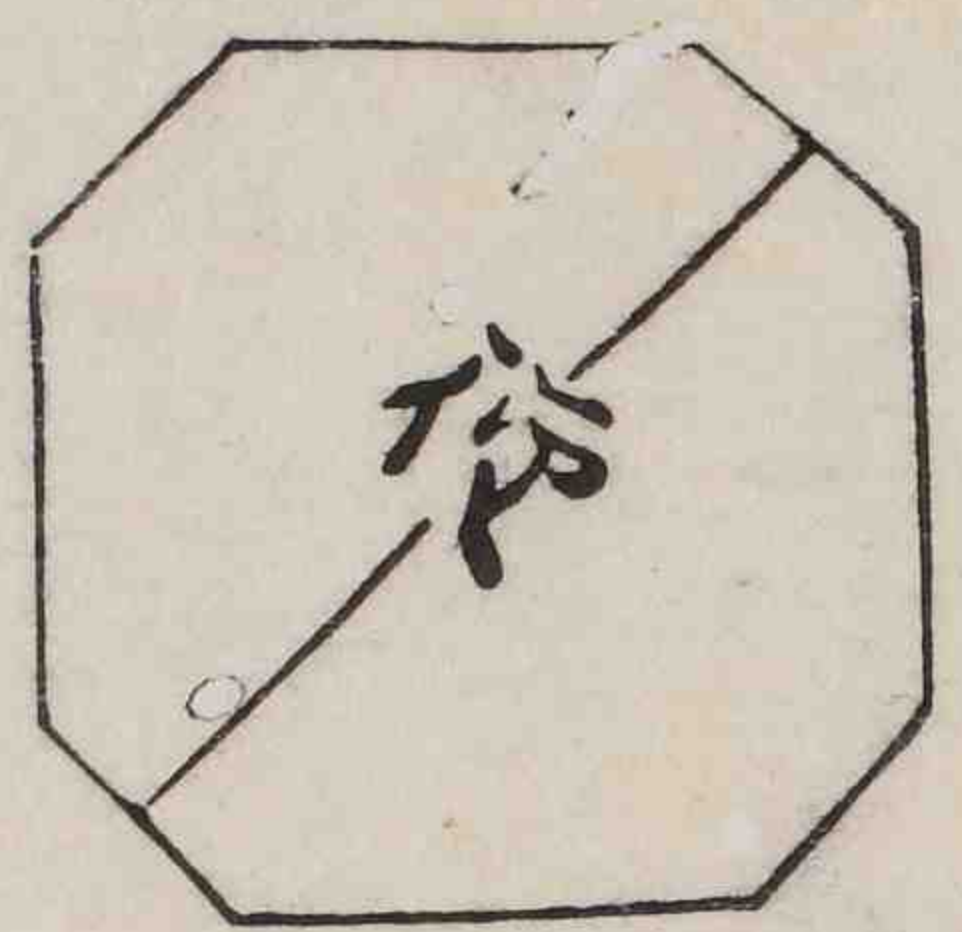
第十四勾股中四 第十四九菱中四

第十五二十十勾股中一吉

第十六二十十勾股中一吉

第廿三三方中四方
 第廿六級横加弄流
 第廿七山取關
 第廿八二十九山取關
 第廿廿一廿二廿三廿四約股關
 第廿五廿六片校双

量子抄卷之一
 其法關類抄百好之卷

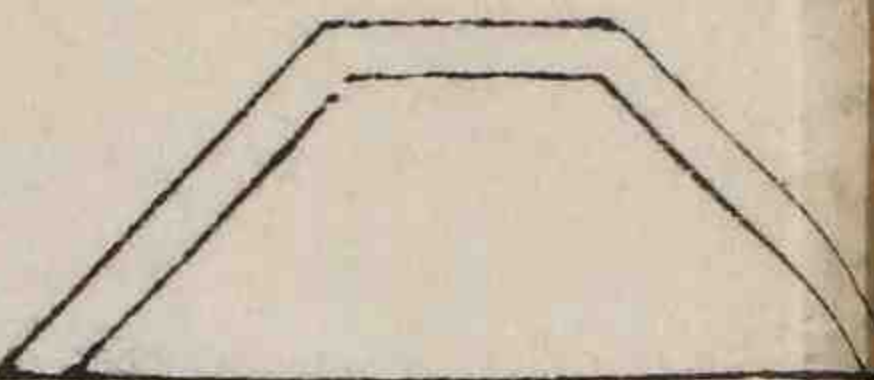


今角切抄の物まじり
 走丈五尺六寸八分五厘角あり
 角八尺三寸四分二厘六毫を
 方尺に履切の履と同

答曰
 切口八寸五分八厘七九六二六
 方尺一尺八寸六分九厘二〇三八六
 法目角徑三尺四分二分六毫（定法二

八二八四をうけて九尺七寸三分七厘を
 四九八四をうけて九尺七寸三分七厘を
 八分の内川筋を九寸四分五分をうけて角切
 ありて法八分三厘をうけて角切
 八寸五分四分。七九六一尺六寸五分四分
 一丈一尺六寸八分をうけて角切二尺五分
 七分をうけて内右の八寸五分四分。七九六一
 尺六寸五分四分をうけて角切二尺五分
 二分八厘をうけて角切二尺五分四分

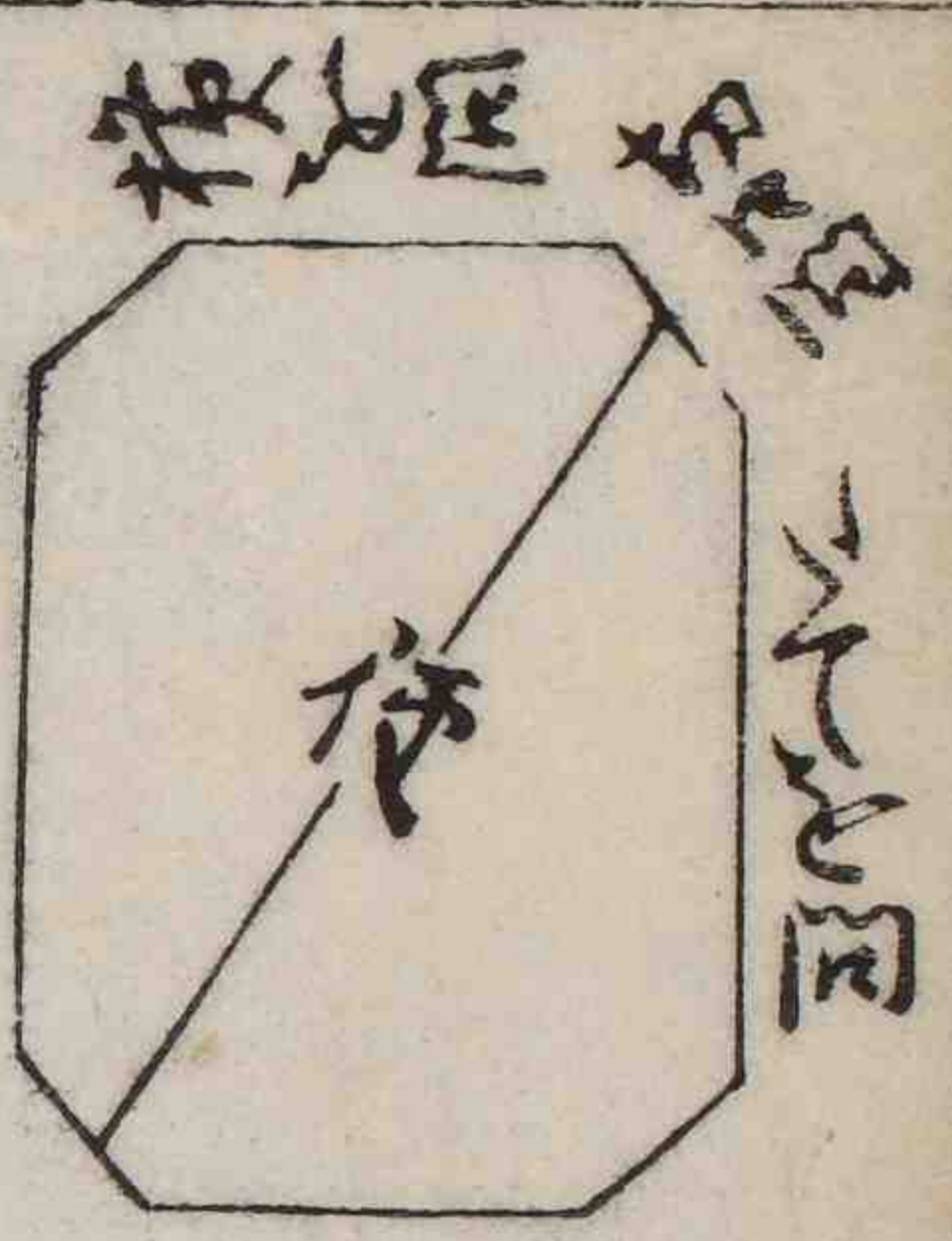
二



口
 方ともいふ尺三寸五分 隙口を
 七寸五分の寸法を記す

美田やちれ切筋すむ一層

法四寸四分一尺七寸五分をうけて二尺八寸
 九分をうけて倍して六百七十八歩を
 用年一割二尺四分五分をうけて内
 の合尺二尺三寸五分をうけて内
 をうけて二尺四分五分をうけて一尺



今角切縦横の少りき丈を
 六寸徑三丈六寸二分五厘
 六厘ハス三寸縦之縦横何程宛

縦ハ尺七寸五分三厘

答曰横も尺四寸五分三厘

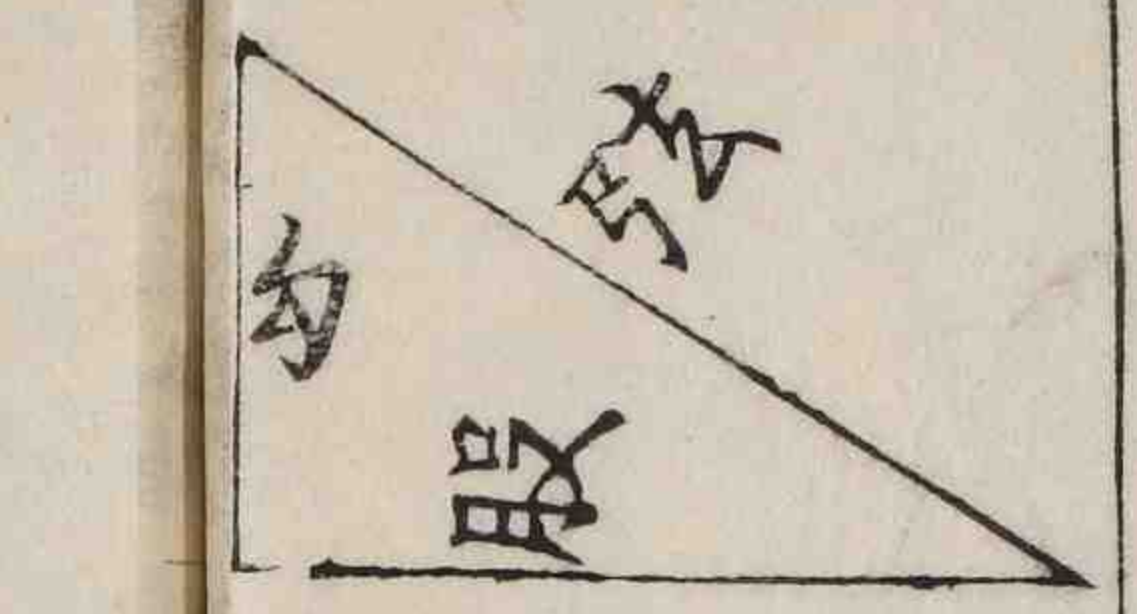
切口も寸九分四厘七毫

法曰徑三丈六寸二分五厘六厘ハス三寸の
 百廿歩を八八以内こぢりき一丈三寸の
 寸を百六十九歩を一尺の歩を百廿歩を
 二二を周率に割九丈九寸五分三厘

三も此を周周一丈五分六寸の内
 八寸五分三厘を定法ハ
 二八四を以て割八寸四分一厘五分
 一厘一丈三寸加て二丈二寸四分一厘
 一厘を以て四丈二寸八分二厘五分を右の
 九丈九寸五分三厘の内八寸五分三厘を
 以て引てもを以て割横一丈四分五分

リ三毛ぬき一ス三寸加て二ス七
寸空みりこもぬきくけくまこ入
て四尺寸一ふき大毛を造法して八
ス二二二毛を物作り一丈。おすの角ハ
筋と二ス三七八ハを四角に割切々す九
ふ四リ七毫もたれ

四



約股弦法は三方打り式百四拾七毛
を板約分法は三十又五毛一け
約股法は二角の二角あり

善田股七十五毛九分九リ四六八

法百毛をきき二六七毛

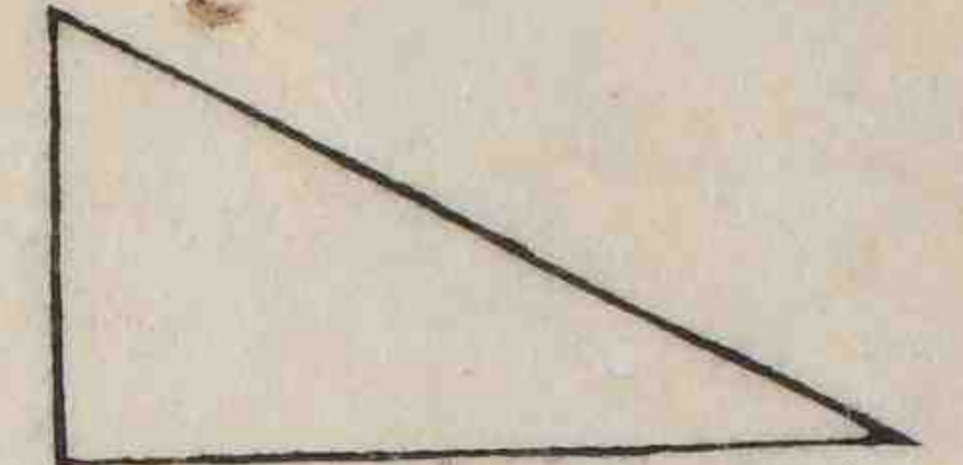
法田約股法の合式百四十一毛へ四毛け
て九百六十四毛をへき三十五毛加へ九百九
十九毛ぬきはきいふ三十五毛をうけて三
万四毛九百六十五毛を海毛に割百半
六毛九八九三にきりけ内世八毛計筋を二毛
ゆ割ハ股七十五毛九九四六八ぬきを式

上

下

百四十八万の内引算する百六十九万〇〇〇又
こゝへ繰三十万加へて式うゝ割法百間

〇〇〇二六七五五七九〇二六七五五七九〇
約方十五万〇〇二六七五五七九〇



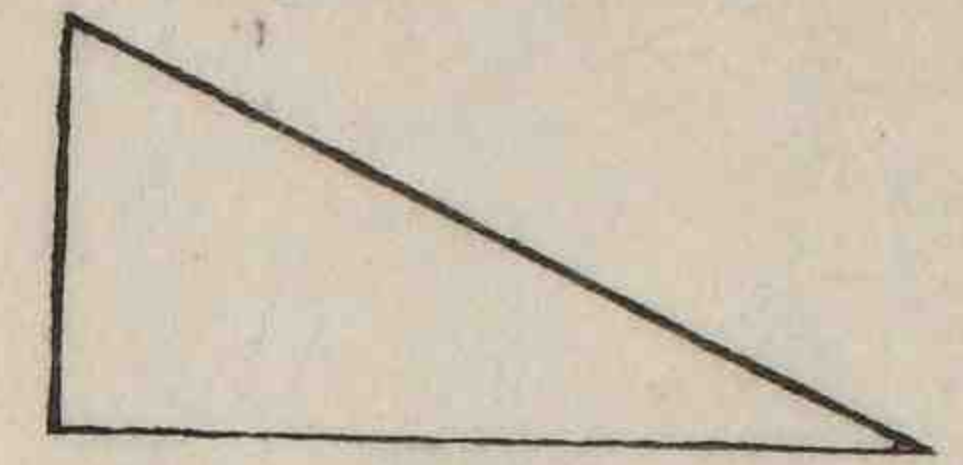
約股法ともいふ方打り二百六十八
万四千五百股約より股八千三百七
約股法りいゝと問

美田法百十一万三九七 股八十五万〇〇一五

法百三十三万二千六百八十の法百十一万三九七

て七万四千五百三十八歩又六七を倍し
十四万四千五百三十七歩二七を八十三万を
倍し百六十九万の内法百十一万三九七を
二百四十六歩二七を割る割三万七
九万七九七九の内法百六十八万の内
引算する百六十九万〇〇〇二六七五五七九〇
二万六十八万の内法百十一万三九七を
引算する百六十九万〇〇〇二六七五五七九〇

百七十万〇〇〇三を二に割る。割る百十八万
 〇〇一又〇四十三万。川おて百七十万。〇〇
 一又〇〇〇〇。



泊股法ともい。三方打白り式百七拾五
 万一を極股より法は女万〇〇一を
 長一法くを同。

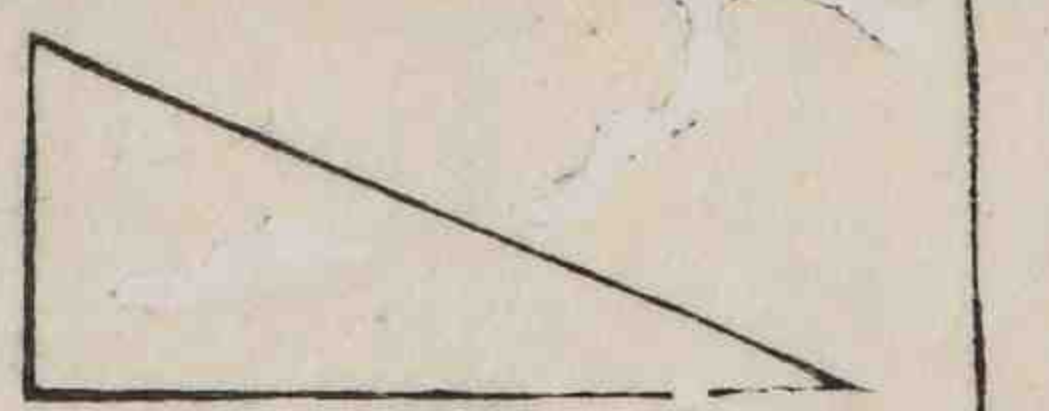
泊六十回万九八七五
 答曰 股九十八万〇〇六二又

法曰 泊七十回万九八七五

曰ふ女是女万〇〇一を加て子百女万〇〇一
 是子女万〇〇一を分けて中万中子六万女
 二歩。又女是を用平に割る百六十九。〇七三
 女内女万〇〇一を分けて中万中子六万女
 六十回万九八七五。女是泊〇〇〇一を分けて中
 万中の内六十回万九八七五。女是泊〇〇〇一を分けて中
 万中の内六十回万九八七五。〇二二又を泊〇〇〇一
 割法百十八万。〇六二八け内女万〇〇一。

三六割て廿万子三百三十三坪三三三とを突
 めく川子三百三十三坪三十八坪六六六と
 さく四十四の次の商二万とを五十二
 万と直り長く初商四万とけして子六百
 八十歩けぬ減法十二歩川子六百六十
 八歩とさくともを割八次の商二万と
 もさく川子の小角八坪とさく割て
 半坪六六六を川て川子商合て四十
 脚商花とさく割物とさく商合て四十
 を引く三百三十六歩を割股四十八万
 分を二万加て法又十万とさく

八



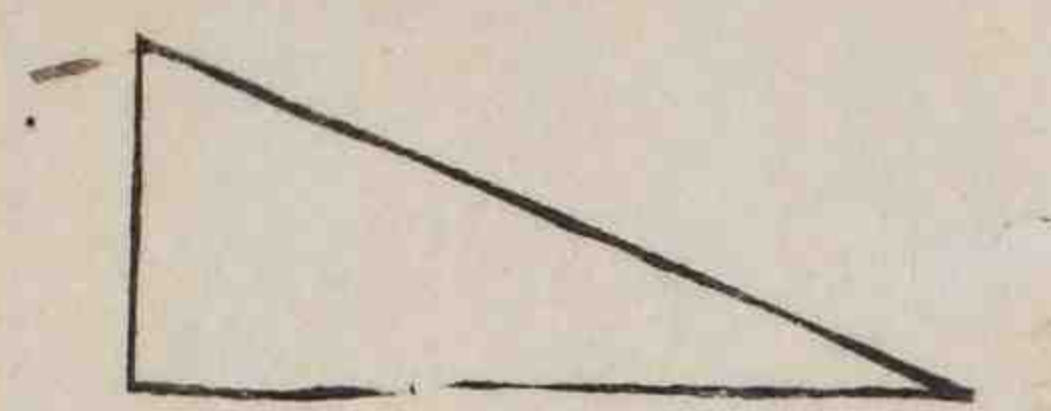
今この股六十歩のものを約股法
 一歩と約より法は式百十五万六
 分と一約股法は約く約股と
 約分と入り又毛一系六分
 答曰股は百十六万一分入り又毛一系
 法は百十六万一分入り又毛一系

小角六百四子坪と三二子割二万子三百
三十三坪 $\frac{604}{1000} = \frac{302}{500}$ $\frac{3200}{1000} = \frac{16}{5}$ 又この高八分
子四百十坪。九八六六分又この高八分
と云ふ六百四十分と云ふこよ六百四十分
をけいて四十を万四子七百女步に換へて
威法十三万九千四百五十九歩。〇〇八を川跡
共七万九千六百六十九歩九二歩と云ふ右乃
ちそのを一坪割八高八分と云ふに換へて

六百四十分の一の高四十分と云ふを六百四十
八分四十分と云ふ換へて六百四十八歩と云ふけ
て十歩のち一歩六百三十三歩二歩に換へ内威法
十三万九千四百五十九歩。〇〇八を川跡と云ふ八
万九千七百三十三歩二歩と云ふ右のを其を
一坪割八高四十分と云ふの高四十分の小角六分り
に色をとらう。割二万一千九百三十三歩二歩
二万七千七百九十二歩六分九厘と云ふ

さしつゝの膏六リとらふまは六百四十八の四六
 正と二番をねの六百四十六の四六とさうけて
 四百四万をそに百の十一歩にの四六の計内
 減法十三万九千は百の十の〇〇八と一歩
 共八万の〇十一歩の八とさうけて右の膏
 と一柳割ハ膏ありとある六リのお角二
 糸忽六微と三の割七忽二微と川
 ともさうさうく高めて六百四十八の四六あり
 計の計好の歩の六割計の膏の計の膏
 流みもみりも一糸六忽とねを三百十又
 万のふ加て法三百十又一分又一分あり
 又六百四十八の四六とさうけて割股三百十又
 二のみりと糸と糸と忽とあり

九



約股の力が白一は三百四十九の五
 約より法を四十六の長く一は約
 股法とのくは行宛
 答曰約六十九 股八十九 法百五

法曰句殺の太百四十二百に五十に四十五を加
て百八十九なるれれに四十五をうけて七十九百
歩をい八をうけて又方七十九百歩を
開平に割り百四十二百に割り百四十二
は内百四十二を二に割りて百七十一と百四十二
るの内百四十二は六十九なるれれに四十五を加
法百四十二

約股ニあり打わり世に四百廿二あり
股より法ハ六十九なるれれに四十五を加
法百四十二

答曰法三百 股百四十二

法曰句殺の太百四十二百に五十に四十五を加
て百八十九なるれれに四十五をうけて七十九百
歩をい八をうけて又方七十九百歩を
開平に割り百四十二百に割り百四十二
は内百四十二を二に割りて百七十一と百四十二
るの内百四十二は六十九なるれれに四十五を加
法百四十二



今もせばせいさくを引入る所解と
 廣横二尺九寸と法二尺九寸と
 法二尺九寸と法二尺九寸と法二尺九寸と
 と法二尺九寸と法二尺九寸と法二尺九寸と

答曰

廣横二尺九寸

校横八尺

法二尺九寸

解曰尺

法曰法といふ横との六七尺の内ひる横

とせよとの六六尺九寸を引算ふ一すを

法といふのちひる又ひる横と解

法といふのちひる又ひる横と解

法といふのちひる又ひる横と解

法といふのちひる又ひる横と解

法といふのちひる又ひる横と解

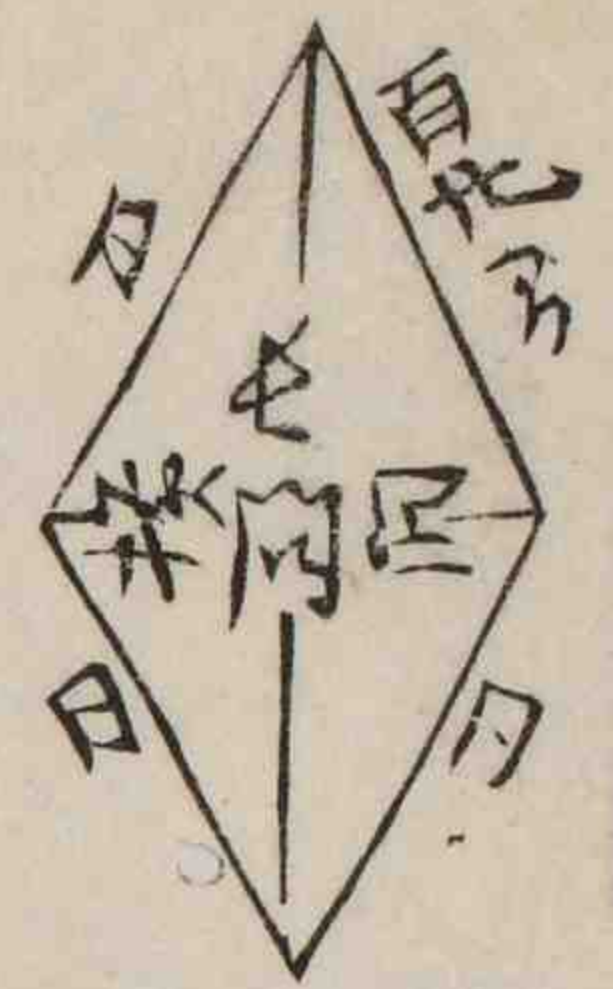
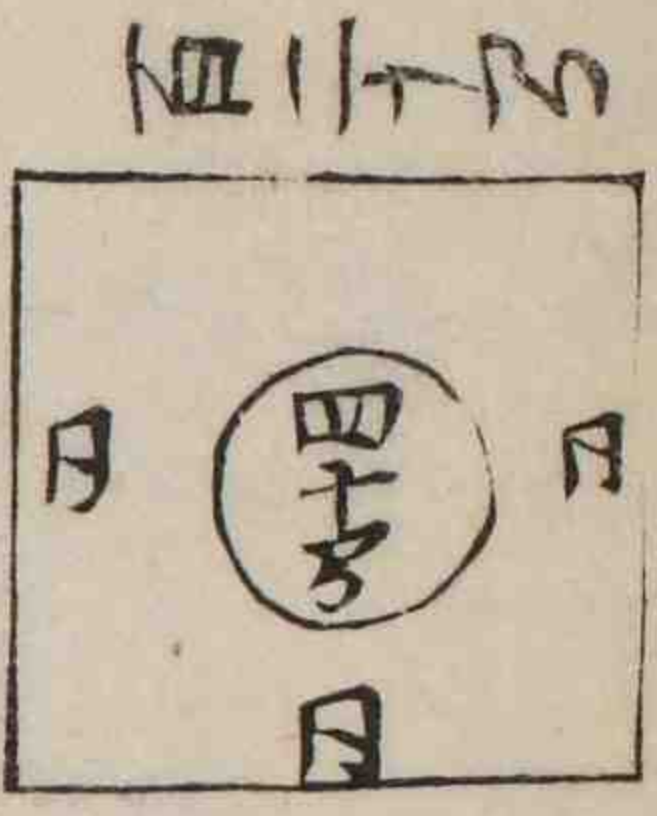
法といふのちひる又ひる横と解

法といふのちひる又ひる横と解

法といふのちひる又ひる横と解

法といふのちひる又ひる横と解

法といふのちひる又ひる横と解



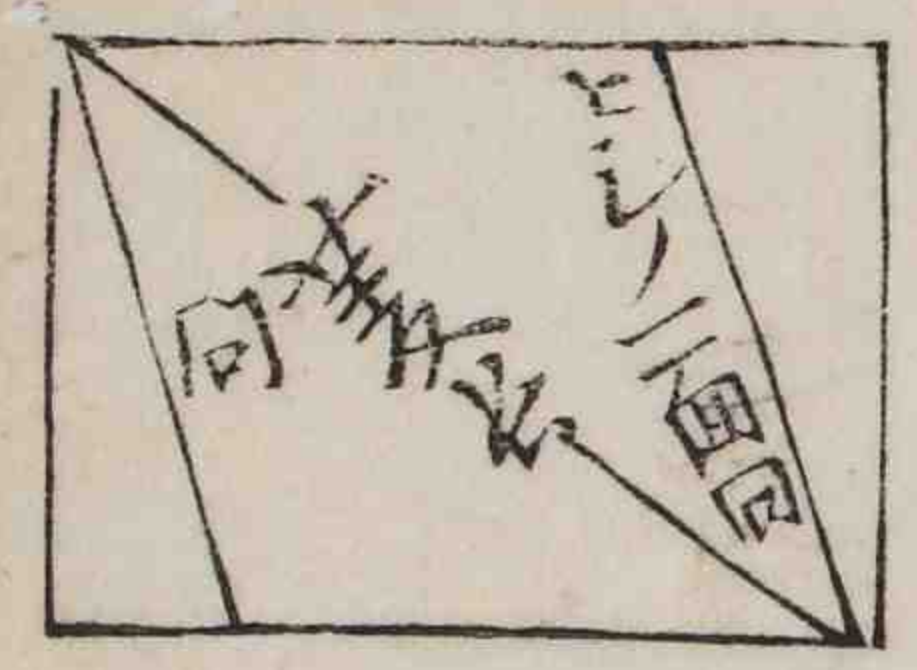
今百廿五の屋敷の中より拾後
 一軍の丸池をけ池とあり後
 の内より少き方に方の百廿五の
 さび菱取仕り長と横を同

菱高
 縦百廿五、長さ百廿五
 横百三十、長さ百廿五

法四方百廿五をとり、長一を万四子に百歩
 長を倍して、小万八子八百歩け、池歩子

四百六十四歩 四十よりりて、子六百歩を二四は
 四百六十四歩 四百六十四歩を二四は

百六十五、長さ九分、池歩子、百六十五、長さ
 を同平に割るると、十、長さ、を、八、長さ、
 横百廿五、長さ、百六十五、長さ、九分、へ
 右の、十、長さ、を、加、ゆ、け、は、百、長さ、を、
 四分の、長さ、を、

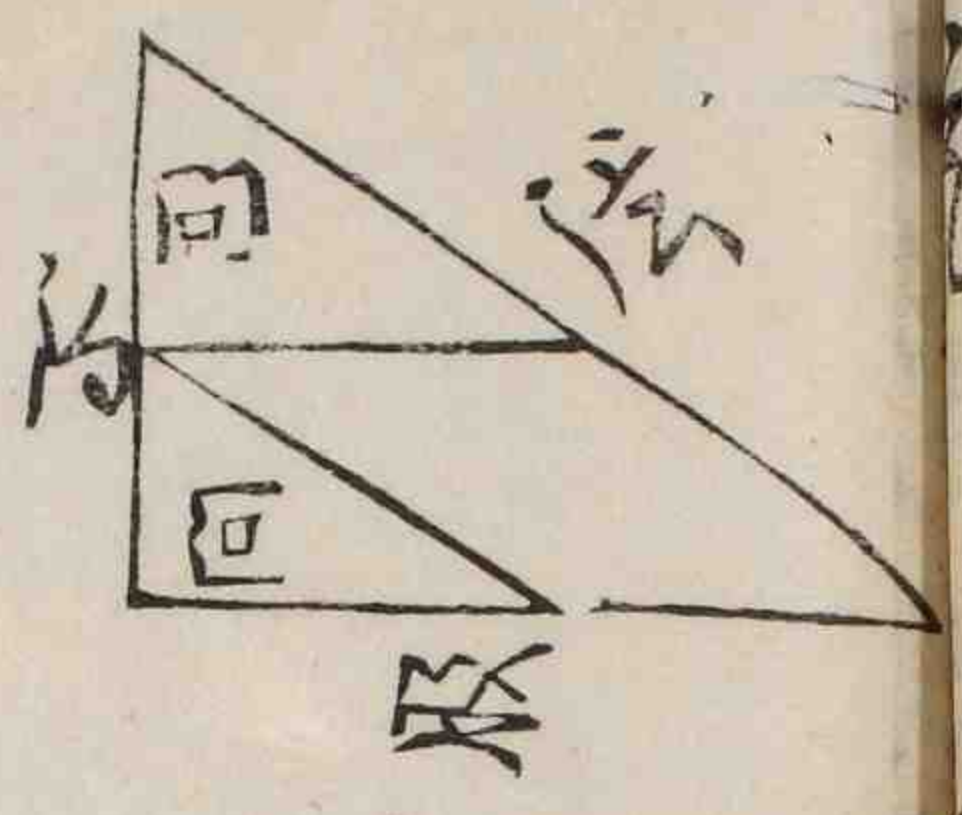


今縦六尺二寸五分、横四尺八寸二分、板
 の角分角、と、尺、を、菱、の、長、用
 二隅切落、菱の、長、用

答曰菱の面は尺九寸八分三厘六毫

法曰縦六尺二寸五分をとり横をとり三子九
百をき六歩の二歩の内横は尺八寸二分の有
余二子三百廿三歩の二とと川は尺と四分
割七百九十一歩の二を縦六尺二寸五分を
とり割一尺二寸六分六厘は尺もわき八分
を縦六尺二寸五分の内よりく川は尺と
四寸九分八厘をとりも尺も二寸四分

四十



答曰
法の上で尺九寸八分三厘六毫
股の内十九寸六分をき

法曰縦七尺二寸五分をとり横をとり三子九
百をき六歩の二歩の内横は尺八寸二分の有
余二子三百廿三歩の二とと川は尺と四分
割七百九十一歩の二を縦六尺二寸五分を
とり割一尺二寸六分六厘は尺もわき八分
を縦六尺二寸五分の内よりく川は尺と
四寸九分八厘をとりも尺も二寸四分

三

十五